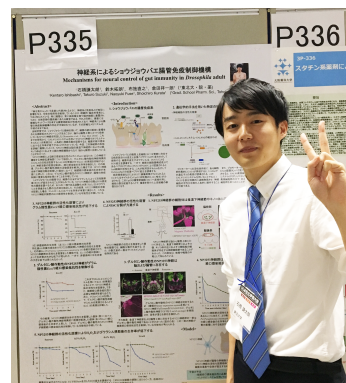


第92回 日本生化学会大会参加報告

M1 石橋謙太郎

私は、2019年9月18～20日にパシフィコ横浜にて開催された第92回日本生化学会大会へ参加し、『神経系によるショウジョウバエ腸管免疫制御機構』という題でポスター発表をさせていただきました。本大会のテーマが“挑戦する生化学”ということもあり、ポスター作成においては、神経系と免疫系の連関という融合領域の面白さが伝わるようなストーリーを意識しました。



今回の発表準備から学会当日までを通じて、改めて科学におけるディスカッションの重要性を痛感しました。自分ひとりでは気づくことができなかった“伝わりにくさ”を指摘してくれた研究室のメンバーや、多角的な視点から示唆深い助言をしてくださった布施直之先生をはじめとするスタッフの方々の協力により、ポスターを完成することができました。本当にありがとうございました。

発表当日においては、多様なバックグラウンドをもった方々にお越しいただき、自分の研究について考察を深めることができました。ショウジョウバエをモデルとして実験をおこなっている同世代の方とも意見を交換することができ、大変有益な場になったと考えています。いざ本番で発表してみると、説明が冗長になっている部分やもっとデータを載せたほうがよかった点などが多くあったように思います。この反省を活かして、次回はより洗練された発表を目指していきたいです。

三日間の会期中には、さまざまな分野の発表に触れることで多くの刺激をもらいました。“先天的・後天的な恐怖がどのように統合されているのか”や“視線とオキシトシンとの正のループがヒトと犬の間の関係性にどのような影響を与えているのか”などの興味深いテーマについて、実際に実験を進めている研究者による生の発表を聞くことができました。今後の自らの研究の糧にしたいです。

最後に、このようなホラーショーな機会を頂けたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。